

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ: (種子島の観光地について)

写真やイラスト及びその説明 / 場所 (地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意...単なる引き写しではなく, オリジナリティーを追究し, 面白い内容を目指すこと。

① 浦田海水浴場 (国上)

種子島の北部に位置する西之表市の北端にある浦田海水浴場は、入り江の奥にできた砂丘の砂浜が眩しいほどに白く、青く広がる海は透明度も抜群!! 「日本の水浴場88選」に選ばれている。

② ヘゴ自生落群 (国上)

種子島の北部に位置する西之表市にあるヘゴ自生落群は、ヒーリングスポットとして人気である。ヘゴが流域約1kmにわたって自生し、他では見ることのできない大規模な群落。

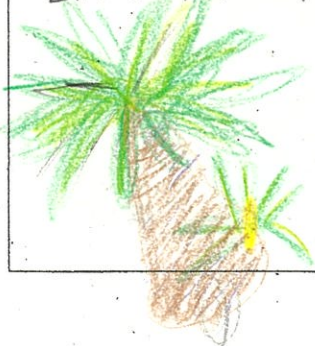
ヘゴの特徴



- 熱帯から亜熱帯に自生する常緑性のシダ植物
- 伊豆半島南部から紀伊半島南部・四国・九州の南部から沖縄などに生息。
- 樹木のように幹を持ち、葉が鳥の羽のように生える。

③ 大ソテツ (中種子町阪井)

種子島の中央に位置する中種子町にある阪井神社境内の大ソテツは推定樹齢600年以上と言われ、高さ7m、樹の長さ10m、根回り2mで、日本一の大ソテツと言われている。



大ソテツの特徴

- 亜熱帯地域に自生
- 大きく反り返るように開く葉と太い幹

④ 雄龍・雌龍の岩 (中種子町内宮)



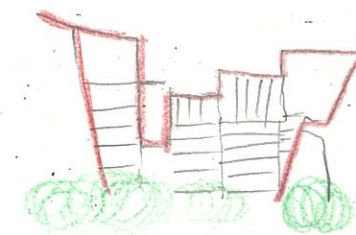
種子島の中央に位置する中種子町にある雄龍・雌龍の岩は、海に向かって、右が雄龍、左が雌龍とされている。

嵐の夜に崖崩れに遭い、海に投げ出された「仲の良い働き者の建五郎と産江という夫婦の生まれ変わり」という伝説がある。



⑤ 門倉岬

種子島の南部に位置する南種子町にある門倉岬は、ポルトガル人が来たに異国船が漂着して鉄砲が伝わったとされている場所である。



鉄砲伝来の歴史を伝える鉄砲伝来記念碑が建立されている。絶景スポット!!



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)

- (例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)
- ・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)
- ・ritofu.com (<http://www.ritofu.com>)
- ・NHK (<http://shuminoengei.jp>)
- ・7"7"7"マップ

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。B: 一通り書けている。C: 不十分な分量・内容。